(財)プレイスクール協会
雑創の森プレイスクール
TEL:0774-63-0951
福岡プレイスクール
TEL:092-761-0592

遊便プレイスクールかうびん

2016 (No.422) 10

スーパーマーケットで
してはいけないこと
うっているおさかなを
さわりまくる
やめなさい!
これ
かおうぜ

アホミイケイジバン

スーパーマーケットで　してはいけないこと

◎笑っちゃいます!!

・うっているおさかなをさわりまくる

●ようわかってるやん

・かってにはしっていったら　まいごになる

・まいごになっちゃだめ

・あばれまわって　あそんではだめ！！

・カートをひとにぶつけて　きぜつさせる

・そとがあついから　れいとうしょくひんのところにかくれとく

・しょうひんをつまみぐい

・じぶんでにくかったらあかん　・おにくをかう

・うってるものをぜんぶかってはいけない

・しょうひんをかってにぜんぶ　ゆにせふにおくる

・スーパーマーケットのなかで　たばこをすわない

・トイレをかりる

・おかねをはらわない！

・おかねをはらうまえに　おかしをたべる

・レジでおもちゃのおかねをだす

・てんいんさんがいないのに　レジのものをもっていくこと

・ものをとらない！

次回のお題は

「うんどうかいで　してはいけないこと」

おたよりまってます（ドクロポストへ）

福岡プレイスクールの子どもたちに聞いた

☆こうえんでしてはいけないこと

・ちっちゃいこをなぐる。
・すべりだいからともだちをおとす
・ぶらんこをおおきくふりまわす。
・すべりだいのうえからとびおりる。
・のぼりぼうのうえからじゃんぷする。
・ちっちゃいこにぼーるをぶつける。

☆スーパーマーケットでしてはいけないこと

・ちらかす。
・おかねをはらってないのにジュースをのむ。
・ねだんをすりかえる
・おかねをはらわずしなものをもっていく。
・まだかっていないおかしをたべる。
・おかあさんにあまりおねだりをしない。
・おかあさんのさいふからかってにおかねをだしてかいものをする。
・かいものかごくるま（カート）にのってレースをする。
・みせをはしりまわる。
・みせのなかでぼーるあそびをする。
・みせのたなにあるものをぜんぶおとす。
・れいぞうこのなかでからだをひやす。

叱るって難しい

子どもを叱らないで育てることができれば、子育てに悩むお母さんは少なくなるでしょうね。・・・・しかし、なかなかそうはいきません。

近年ではあまり叱らない子育てをやることを実践されている方もいらっしゃるみたいですが、難しいことだと思います。
叱ることも難しいですが、子育てで叱らないということは大変です。

本当に危険なときや悪いことをしたときは、注意をしなくてはいけないことがあります。そんなときに、ゆっくりやさしく注意したのではそれが悪いことかどうか理解できなかったり、誤解したりすることもあります。
危ないことをしたときは真剣な目で、しっかり、きちんと言い聞かせることが大事だと思います。
ところが、叱ったときに子どもが意地を張って、わざと言うこと聞かなくなることがありますし、反抗してわめきちらしてきたりします。それは子どもの自己主張であり、自立の一歩ですから喜ばしいことかもしれません。
しかし　親としてはちゃんと悪いことは悪いと教えてあげなげなければいけないので、負けちゃいけないと思います。

子どもは悪いことをしたときに、叱られない方が楽なので　そっちを望みます。だからといって叱らないでいると、「またしてもいいんだ」と勘違いしたりもします。
子どもたちは正義感があるので、悪いことをしたときに甘やかされるより、真剣に叱ってくれる親を最終的に信用します。
あとあと、ちゃんと叱ってくれたのは、自分のことを思っているからだとわかるのです。

そのかわり、叱ったあとはいつものやさしいお母さんであってほしいし、頑張ったときにはたくさん褒めてあげてほしいものです。

山　本　直　幸

ナースリークラス

タオルで足を拭いているのではありません。手打ちうどんの生地作りです。

美味しいうどんのおやつでした。

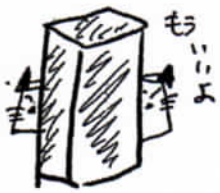
♪なーんだろう♪ベイビー！歌うのが大好き。→

～ 水あそび … 9月 ～

屋上の水あそびは、プールからせんたくごっこに変り次は柵から水をザッザーと流す？こぼす？になりました。こぼれた水は、2階を通りすぎ1階の砂場にしみこみます。1階にあるプラスチックのすべり台は、大きな音で、ドッドッドッと。砂場の鍋やフライパンは金属なので高い音がします。ザッザー ドッドン トンテンカンと、とってもにぎやかな水遊びが続いています。

～ かくれんぼ ～

近頃、よくかくれんぼをします。1、2、3、と声をだしてかぞえるので、みんなバラバラのことをしていてもいつの間にかかくれんぼに参加している状態になります。でも、ちゃんとかくれんぼを理解しているのは、少人数なので、大人が動いた方に子ども達もついてくる、へんなかくれんぼになってしまいます。そんなかくれんぼでも楽しんでいる子もいますが、ちゃんとやりたい子は、イライラして、**「ちゃんと、して!!!」**と怒りだしてしまいます。そこで、かくれる人を人形にかえて、人形をかくすというかくれんぼにしました。自分で作った人形やプレイスクールの人形をかくすので、子ども達も、何回もかくせて、ヒマになることがないので、ワクワクが続きます。つい、自分でかくしたのを「ここ ☺」と見つけても、たくさんかくしているので、**「いわないで!!」**と怒ることも少なかったです。何回もやっている内にだんだんルールが解ってきて、かくし方も上手になっていきました。またみんなでかくれんぼ … いやかくしごっこをやりたいです。



紙コップのライオン

幼児クラス

「カニ」◎たからさがし…「たからさがししたい！」「じゃあ、たからの地図つくらんとね」

「わかった!!」「たからも作る」なんていうところから地図のような迷路のような、なぞなぞのようなものをイキイキとして書き始めた子ども達。あっという間にたくさんできあがってきましたが、かくす宝が間に合わない。。。なので、いったん地図は机の上にきれいに並べておいて、宝を作ることにしました。キラキラしたもの…手裏剣を折り紙で折ってそこにキラシールを貼ると、素敵な宝に！するとみんな欲しくなって手裏剣づくりになりました。2枚を組み合わせるのは難しいのですが、がんばりました。で、とってもいいのができたので、当然それは自分で持っておきたいということで。かくす宝がなくなってしまったので、地図を見ながら番号の書いた紙をさがそう！というのに変更して、1〜10の紙をプレイスクール中に貼って見つけてもらうことにしました。まずは私がかくして「いいよー」で子ども達が探しに行きます。すっかり地図のことを忘れてあちこち探す子もいれば、さきほどの地図を片手に「こっちだ。きっと。」と走りまわる子もいておもしろいなと思いました。地図を見てなかった子も見ている子が気になってのぞきにきたり。子ども達の書いた地図には私がわからないヒントがたくさんかくされていたようで、「あったー!!」「当たったね」子ども達の想像力、楽しむ力ってやっぱりすごいです。◎パラシュート…重りはそれぞれが書いた絵をつけて「それっ！」フワフワ〜と下に降りていくのもあれば時々下から吹き上がる風で屋上まで舞い上がったりして、「もう1回しよう」と何度も2階のすべり台口や屋上から落としてあそびました。「どうぞー。」と落ちたのを全部ひろってくれる子もいましたが糸が絡まってあらら。作り直してまた「それー。」上から見て下から見てたのしみました。　<よっこ>

小学生

月2回 クラス

9月の1回めの活動は『ダンボールでつくろう!』 いくつかのグループに分かれ、思いつくものを作って、そこにみんなを招待して一緒に楽しもう、ということにしました。早速おもいおもいにダンボールを手に取り、ガムテープ片手に「基地にする」「2階建てにしようか?」「行き止まりも作ろう」などと言いながら、机、いす、フワフワブロックなども利用することにして製作開始。はじめはとりあえずここ、という感じでガムテープで貼っていましたが、そのうちどんどんのってきて、こちらが思っていた以上の集中力!! 形が見えてくるとさらに、あっちも、こっちもやりたい。となっていました。そして作ったところをみんなに披露する時間にはそれぞれのおすすめポイントを発表してもらいました。「この屋根が開くところです」「お店やさんに買いにきてください」「せまくて暑い時から汚わを使ってください」なんていうところもあり、「おじゃましまーす」とあそびにいったのでした。お店やさんには最後本物のあめをサービスしてもらい、さらにニコニコでまわりました。

24日の活動は、まいづる公園にあそびに行きました。坂道を登り、まずはどんぐりを探しに行ってみると、「あったー!!」「でもまだあおいのが多いねー」と言っていると「こっちのは大きいよ」と少し離れた木の下では大人のりっぱなどんぐりが! 場所によって大きさも形も違い、木が並んでいるところもいろんな種類があるのを発見。「ほら、見て!!」見てみるとピッカピカのどんぐり。洋服で磨くとツヤツヤになるのでみんなゴシゴシ。なかでも、けんちゃん(リーダー)のシャツが1番ピカピカになる!? らしく「これすごいやろ?」「いや、これもどう?」とピカピカ自慢でした。その後、ドッヂボールをして、帰ってきました。おでかけ日和で気持ちよかったです。 <よっこ>

小学生水曜日クラス

ちょび

水曜日クラスお泊り会

水曜日クラスでは初めてのお泊り会。今回は木曜日がたまたま秋分の日でお休みだったので、水曜日からお泊り会をした。

翌日が祭日なので来れる子が多くなり、にぎやかな“お泊り会”になった。4時過ぎ屋上でバーベキューコンロに子どもたちに火をつけてもらった。（泊まらない子も焚火遊びは楽しいので、一緒にたき火を楽しんだ。）

薪に火が付いた所に炭をガガッ！と投入。炭火が落ち着く間にお風呂に行くことにした。行先は“天神湯の華”、タクシー2グループとちょび号に乗って行った。

お風呂から上がりさっぱりしたところで、夕食タイム。好きなもの1品持ってきていたのでそれとプレイスクールが用意した肉をいっぱい頬張り、カレーライスや焼きそばなども食べて「おなかいっぱい、もうたべれん！」と言っていた。・・・のだが、「デザートは別腹」と言ってそのあとは“焼きマシュマロ”を頬張っていたのだった。夕食のあと「まくら投げをしたい」と言っていたが、（1，2年生が多いのでエキサイトすると泣く子が出るとかわいそうなので）「まくら投げは枕を作らんとできんから、今度作ってからやろう」ということで、懐中電灯を持って今泉を夜の散歩に出かけたのだった。夜の散歩では今泉公園で、少しだけ鬼ごっこをして帰ってきたのだった。（恋人どうしで来ていたカップルの方たち雰囲気を壊してゴメンナサイ。）それからプレイスクールに帰った一行は、ちょびの紙芝居を観たあと、部屋を暗くして懐中電灯で本を読んだり、台所は灯りを12時まで点けていたので、そこにテーブルを置いて卓球をして楽しんでいた。

興奮して眠れないというのもあるようだが、ほとんどの子は夜12時ぐらいまで眠れず起きていたのだった。

次の日は7時半起床、それから薬院公園まで散歩がてらに行き、公園でドッジボールや鬼ごっこをして、お腹を空かして「ただいまー。朝ごはんは？」と元気よく帰ってきてモリモリ朝食を食べていた。

それから解散時間の10時までは各自好きなことをして遊んで、その後家に帰っていったのだった。みんなも疲れたようだったけど、楽しいお泊りだったに違いない。

楽しい女子会

夜の公園で鬼ごっこ

懐中電灯の灯りでトランプ

台所で夜な夜な卓球

夜も更けてぐっすり

手芸・ファッションクラブ

新しいクラブです。ワクワクしてつくったクラブということがすごーく伝わってきたので、まずは『ファッション』… みんながどういうイメージをもち、どんなことをしたいのかを書いてもらい、はなしをしました。

・雑誌づくり	
・オリジナルの服を作りたい	
・ドレス作り	・ワンピース
・コルセット	・ししゅう
・合宿	・お店もみたい
・小物づくり	・デザイン画

主な意見としてこういうものがでました。自分達で作ったものを記録として撮って、それでオリジナルの雑誌を作ってみたい、とのことで、「うん、それいいね」ということになりました。なんせ担当リーダーがまたくファ、ファッション!?という感じなので、(子ども達はそこはよーくご存じでございます。) 教えてもらいながら、勉強しながら楽しみたいなと思っています。1回めは、ワイヤーが使いたいということだったので用意すると、1人の子の腰に2人がかりでワイヤーを巻いていって、コルセットを作り始めました。その手際のよさにほんとにびっくり! それを見ながらみんなも「すごいねー」とテンションがあがり、カーテンのレース生地を使って、シャツ、ミニスカート、ワンピースなどを作りました。とりあえず、今は作ったらすぐ着たい! ので、着るときは慎重に でもそのパパッーと作ったのがみんなほんとにかわいいんですよねー!! 背景の布を貼り、撮影会も忘れずに!! 小さくなった浴衣、Tシャツ、パンツなど持ってきたりしてくれている子もいるので、さあこれからがまた楽しみです。髪のアップや編み込みなども上手にしたりされたり。感心することばかりなのです。 <よっこ>

化石（かせき）クラブ

まさし

９月になって、秋の気配が近づいてきました。クラブ決めがあり、今回は新しいクラブが色々と候補に挙がって、その一つが化石（発掘）クラブ。その化石クラブが正式に誕生しました。まずはみんなに何がしたいのか尋ねると・・・「アンモナイトがほしい」「なにか掘りに行きたい」「綺麗な石（宝石）がほしい」「恐竜を見に行きたい」「ホテルをつくりたい」・・・ん？途中から少しおかしな提案があったけど、みんななんとなくクラブに対してのイメージはあるみたい。

レッスン１　本格的活動第一弾は、［発掘とはなにか］

「みんな注目！掘って見つけるものはなにがあるかな？」「恐竜の骨」「宝石」「昔の家のかけら」「お皿」「武蔵の魂」また、おかしなものが入ってる気がするけど、大体のイメージはそんな感じでした。「骨は化石、宝石などは鉱石、昔の家やお皿などは遺跡と言われてるよ。」それからどれも、掘る、出す、組み合わせる、場合によっては割るなどの作業があることを説明し、今日の活動は割る作業と掘る作業。割るのはタガネとハンマーを使ってやってみることに。いきなり石を割ると怖い子もいるので、今回は割れやすい流木を使っての作業にチャレンジ。割れやすいとは言っても初めての作業。みんな悪戦苦闘しながら頑張っていました。「割れたー」「中が縞々で化石じゃない？」など、みんな目を輝かせていた。みんな割れたところで、次は掘る。ビー玉などを埋めて要は宝探しのような感じで掘り返す作業。刷毛なども使って繊細な作業もと思ったけど、みんなはスコップでガーっと掘って「次はどこだー！」繊細さを求めるのが間違ってました。

レッスン２　［化石ってなーに？］

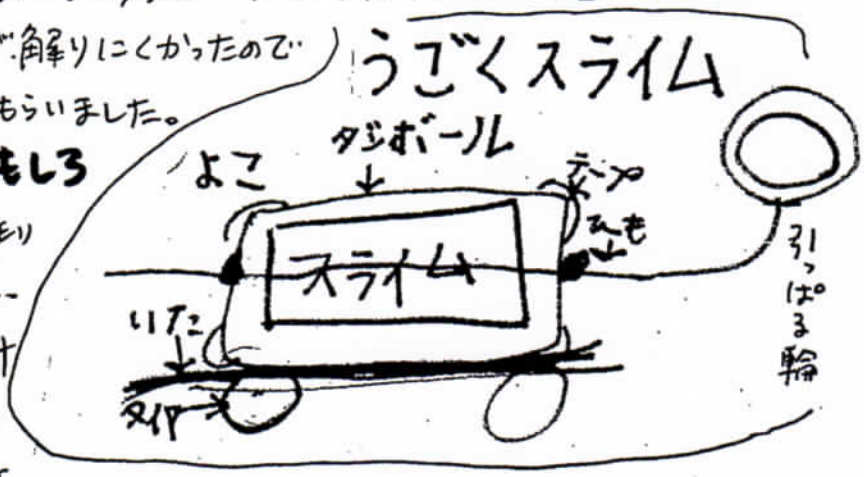
そもそも化石とは何だろう。なかなか触れる機会もないし、みんななんとなく話してるけど実際はどんなの？ということで、ちょびに貴重な本物の化石を借りて、石膏で型を取り、レプリカ作りをすることにしました。もう一つ、恐竜の牙のレプリカを持ってきてくれていた子もいたので、それも使わせてもらいました。ありがとう。みんな石膏を混ぜ、型に流し込み、固まるまでしばし待つと・・・立派なアンモナイトの化石と恐竜の牙のレプリカができあがりました。それだとみんな一緒なので、絵の具で色を付けることに。思い思いの色を塗り、虹色のアンモナイト、本物そっくり茶色のアンモナイト、真っ黒な恐竜の牙など、世界に１つの化石ができました。

工作クラブ

～スライム～

工作クラブでやりたいこと、作りたいものの希望を聞くと、

スライム、スライム、スライム … **ぜったいスライム**だったので、スライムを作った後、どうやって遊ぶ？？？って聞くと、作るのが楽しいので、いっぱい作って その後は？？？ そう、スライムは作る時が不思議で、おもしろく、出来たスライムは、ビョ～ンとのびて、**きもち悪い**といいながら、また、元戻りにして、今度は ベローン～～と。しかし、それ以外の遊びが思いつかない。**どうしょうかな？？？**とみんなで考えていたら、「こんなのはどう」と説明してくれたのが解りにくかったので絵に描いてもらいました。



なんか おもしろそう!!!と作りはじめました。ほとんど設計図通りに完成して、いよいよ引っぱってみることに ---- 箱の中に入っているスライムはビローンとのびて変化なし ---- 実験は成功だったらしいのですが ----

あまり不思議なこともなく、お笑いもなく ---- みんなの感想は「**フツー**（普通）」って。おもしろい工作って奥深いものだ!!!

むずかしい～～よ。 そうこうしていると、別の子が、スライムが固ったってうれしそうに報告。それから、その固ったスライムをなんとか、スーパーボールにしたくって、研究、追求しました。 ---- 奥深い!! いいね!! ヨッシ

自転車クラブ

ちょび

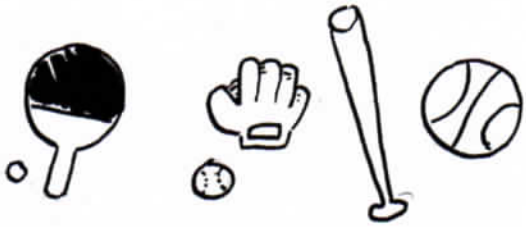
9 月にクラブ改正をして自転車クラブはメンバーが減り、10 人ぐらいと少ない人数でスタートした。2 学期始めのクラブということもあり、手始めということで大濠公園へ行くことにした。ただ新しいメンバーはいないのでちょっとだけ上り坂の桜坂を通り護国神社を通り、大濠公園へ向かうっことにした。あと少しで大濠公園という信号機の左手にＮＨＫが見えたので、「ここがＮＨＫって知ってる？」と言ったらけっこう詳しい子と行ったことがないという子がいたので、「ならちょっとだけＮＨＫに寄って、それから大濠に行こう」ということになった。

ＮＨＫに入ると受付で「スタンプラリーをやっています。見学や体験ができる部屋もあります」と言うので早速みんなスタンプラリーのカードをもらい、やる気満々でスタートしたのだった。スタンプを押す場所ではクイズに答えてスタンプを押し、次のスタンプ場所に移動するという目に見えない誘導であっちこっちの場所に行くのだったが、大人なら「ここはこんなことをする所か。」とか考えたりするが、子どもたちはそんなことは関係なく、クイズの答えを考えるのが必死でそんな余裕なんてない。ところがアナウンサーの体験コーナーでは本物のカメラで写してもらい、マイクでしゃべれ（遊びができる）ので、そのコーナーだけはみんな食いついてカメラさんが嫌になるくらいアナウンスごっこをしていたのだった。（得に男の子が）そんなこんなで遊んでいたら大濠で遊ぶ時間が 30 分ぐらいしかなくなっていた。

「えーもう、こんな時間？」「仕方ないやん。少しだけど大濠で遊ぶ？」

「じゃあ、くじら公園で“アリジゴクごっこ”しよう！」「30 分だけだよ。」「やったー！」ということでくじら公園に行き、“アリジゴクごっこ”（横幅 20m位の大型コンクリート滑り台で、オニの子が上にいる子の足を引張って引きずり下ろすという遊び）をして大濠を１周サイクリングして帰ってきたのだった。

スポーツ・卓球クラブ



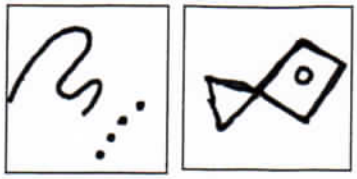
◆ ９月のクラブ決めで、卓球をしたい（オリンピックの影響）という希望が多く、スポーツ・卓球クラブかできました。今までも　室内でときどき卓球をします。卓球台もラケットも実は手作りです。このクラブに入ったメンバーの中には、自分で作った“マイラケット”で卓球を楽しんでいます。　一回目の活動は、テーブルを卓球台にして卓球をするチームと屋上のドッチと野球チームに分かれました。時々メンバーが、入れ替わったりしながら、最後におやつのおにぎりを自分たちで作って食べました。二回目の活動は、台風が接近するという天気予報だったので、児童会館に新しくできた集会室を借りることにしました。球技はできませんが、運動はしてもいいということなので、ビー玉の三角出しや、ふうせんバレーボールや、ハンカチ野球などをして遊びました。児童会館は申し込めば卓球が30分間できます。この日は土曜日にもかかわらず、２台の卓球台がスムーズに借りることができて、ラッキー！低学年と高学年に分かれてダブルスの試合をしました。

３回目は、天気も良く赤坂公園に行きました。この日は16人とメンバーも多く、８人対８人の野球ができました。どちらのチームもあと一歩で点が取れず０対０だったのですが、最後の最後にヒットが出て、勝負あり。ちょうど帰る時間がきました。みんな次はヒット打つぞ！と思った接戦の試合でした。　　たみ

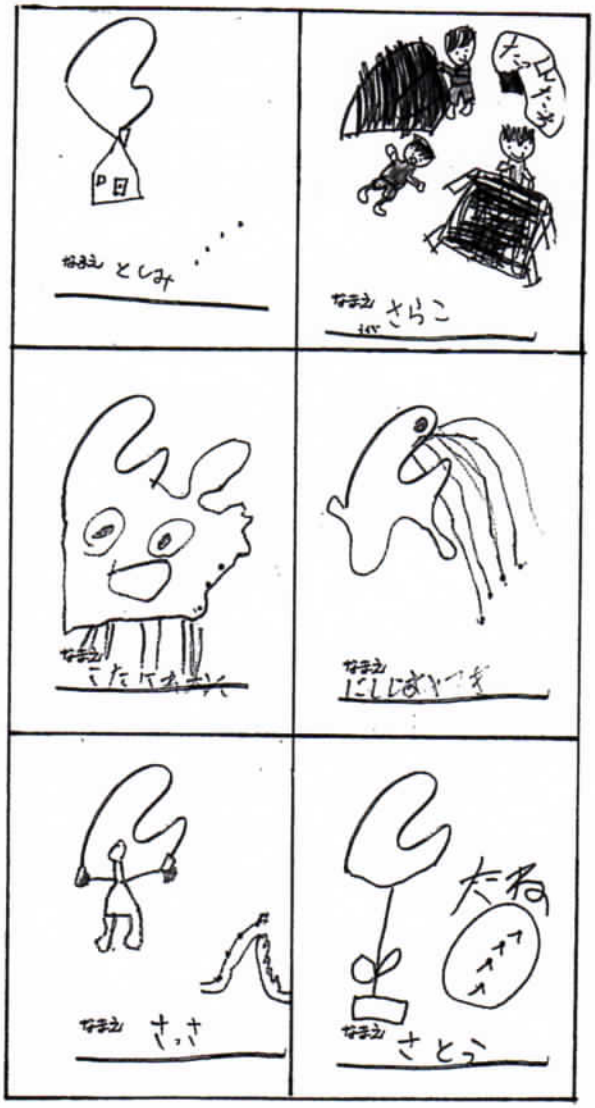
● 前回のスポーツクラブは、低学年が多く、人数も 10 人を超えることもほとんど無く、スポーツ・卓球になってからは、高学年の子も増えて、人数も 10 人以上になり、今までとは非常に雰囲気も変わり、賑やかになりました。野球では守りも人数が増え、今までは、ヒットになる様な打球でもアウトになったりします。バッターも、いつもより多くの人に見られているからか、力んでしまい打ち上げたりしていたのでした。　　けんた

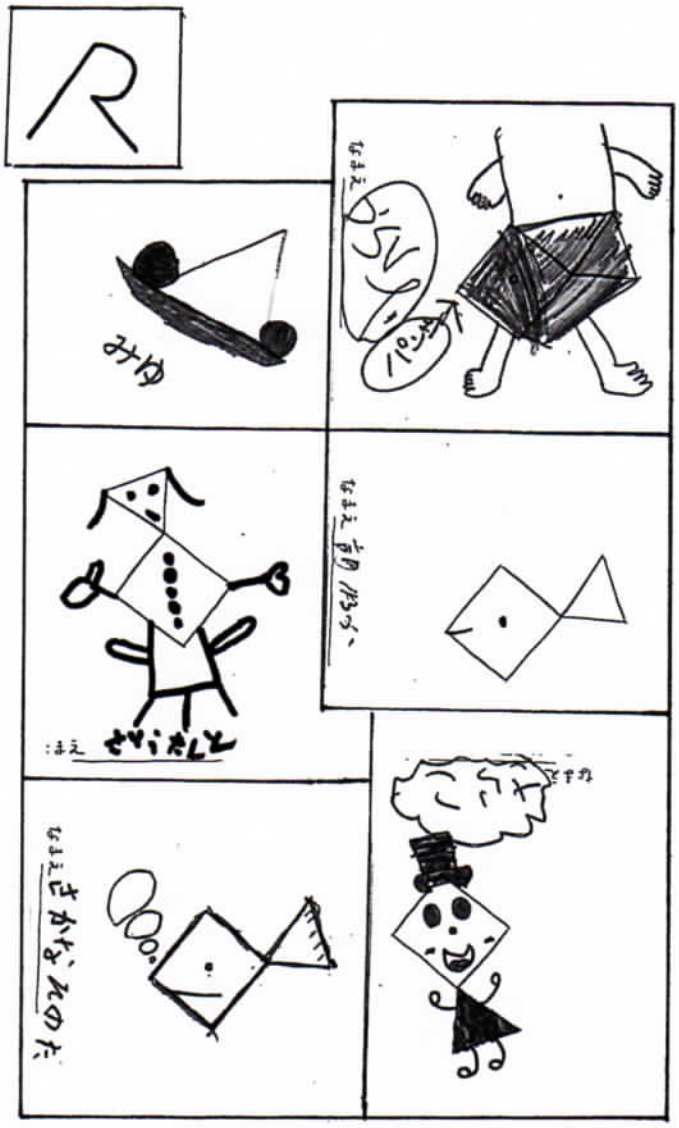
イメージカードコーナー

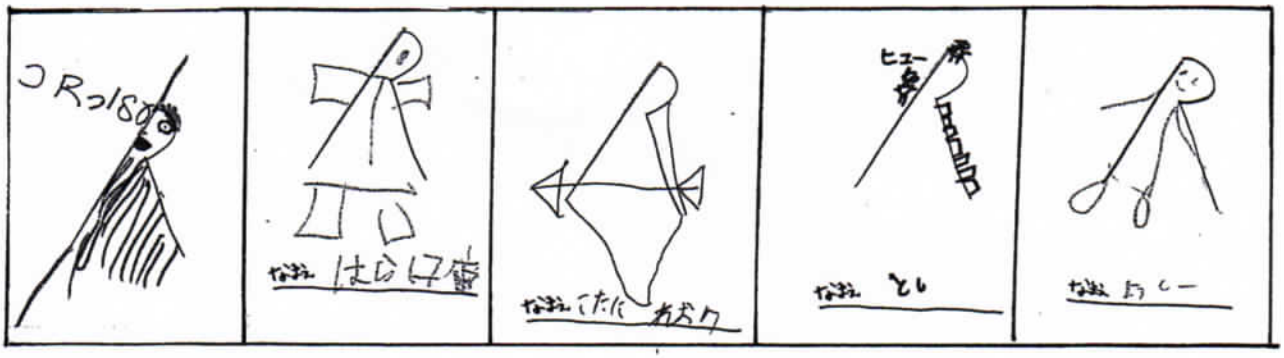
今回のイメージポイントは
子どもたちのアイディアが
いっぱいの絵です。



←これです。さて
どんなところに
使ってるなか？







子どもっておもしろい!!

身体に刻むメモリ

夏休みが終わった９月最初の土曜日、にぎやかに小学生クラスの２学期がスタートした。子どもたちみんなが集まってまずは毎年おきまりの質問から、「夏休みに海の向こうに行った人？」「はいっはいっはいっ！」「どこ行ったん？」「高松行ったで！」「そうそう、香川県高松市…そら四国やないかいっ！」とここまではお約束である。

みんないろんなところに遊びに行っていたようなのだが、じっくりと話を聞いてみると何やらあやしくなってくるのだ。温泉に行ったという子に「どこの温泉？」と聞いても「う～ん…温泉」と要領を得ないお返事、でも露天風呂の様子やお母さんが忘れ物したこととかはきっちりと覚えていたりする。以前、アジアのリゾートに遊びに行った幼児クラスの子どもに聞いた時も、彼の記憶に残っていたのは有名な観光地ではなく、ホテルのプールのことだった。どれだけきれいで広かったか、ウォータースライダーの迫力などを事細かく話してくれたのだった。

ホントに子どもたちってとても面白い視点で世界を眺めていて、とてもミニマムなことが心に刻まれている。大人はややもすると、訪れた観光地のすばらしい風景をみて、地元の名物に舌鼓を打つことにのみ興味をもってしまうが、それって旅立つ前にネットで調べたり旅行雑誌で見た情報の確認作業に過ぎないのではないか。もっといえば風景という情報を愛で、名物という情報を食べているのかも知れない。だからそんな情報から遠い子どもたちは、情報に踊らされることなく自分自身の目で身体で感じたことのみを心にしまうのだ。
もちろん言語化できない経験もきっと心の奥深くにしまいこんで、彼の人生のどこかの場面で思い起こされるのだろう。せっかく海外旅行したのにプールだけの思い出しかないのかと落ち込まなくても、きっといつの日にか子どもの頃の経験が生かされるときが来るはずだ。それは農作業で畝たてをして種をまく前に施す元肥のようなものなのだろう。そう子どもの頃の経験って人生の元肥なのだ。したがって即効性はないけど、それがあるのないとでは実りに大きな違いが出るのだ（…と心から信じたい）。

ところで人間の記憶というやつはかなりあやふやで、簡単に再構成されてしまうものらしい。他人の言葉などで書き換えられた情報をさも本当のことのように覚えてしまうという。きっとボク自身が小さかった頃の記憶も、そのあとの周りに大人たちの言葉で作られたものなのかも知れないなぁ。ということは、子どもと近くのスーパー銭湯に行った後に事あるごとにあれは登別温泉だったとささやき続けたら、子どもの記憶の中では北海道旅行して登別温泉の露天風呂に入ったという記憶に再構成される可能性だってあるのだろうが、飛行機にも乗らずに家から車で２０分で行ったことや、風呂場で友だちにでくわした記憶なども書き換えを迫られるので止めたほうがいいでしょう。

子どもの記憶は経験とともに紡がれる。さぁこの秋も子どもたちの心に刻まれるような遊びをしていこう！

（京都・雑創の森プレイスクール　福山記）

手づくり市

11月13日（日）

午前11時～売り切れるまで

（だいたい1時半ぐらいまでです。）

お店を出す人 募集中！

小学生・幼児クラスの子どもや親が作った、手作りの小物やおもちゃなどを売ってくれます。ナースリーも幼児も小学生の子たちも、お友達をつれてお買い物にきてね！　売り切れたらお店は終わりです。買い物に来る人はお早めに。※ お店を出す人は「お店出します」という用紙を出してもらいます。

※11月14日（土）PM5時から6時まで話し合いをします。

◎一昨年まで「子ども市」だったお祭りを“手づくり市”という形でします。近年子どもたちだけで物を作るということが（完成度の問題も含め）難しくなってきたことや、お金の価値感も親に教わりながら学ぶ方がいいのではないかということで、親子ででもお店を出してもらってもいいのじゃないかということで“手づくり市”という形にさせてもらいました。勿論子どもだけの出店も歓迎です。よろしくお願いします。

・小物屋さん　・アクセサリー屋さん　・お菓子屋さん　・ゲーム屋さん　などいろんなお店が出店すると思います。
・プレイスクールのスタッフの店の食べ物コーナーや遊べるコーナーなどもあります。

プレイスクール　TEL761-0592　FAX761-1258

福岡プレイスクール 10 月度予定表

日	月	火	水	木	金	土
						1 午後　小学生クラブ
2 	3 	4 ナースリー 幼児	5 小学生	6 ナースリー 幼児	7 ナースリー 幼児	8 小学生　午前クラス 小学生　午後クラブ
9 	10 	11 ナースリー 幼児	12 小学生	13 ナースリー 幼児	14 ナースリー 幼児	15 小学生　午後クラブ
16 	17 	18 ナースリー 「親子昼食会」 幼児	19 小学生 夕食会（おにぎらず＆おにぎりず）	20 ナースリー 幼児	21 ナースリー 幼児 「公園へお出かけ」	22 小学生　午前クラス 小学生　午後クラブ
23 「味覚狩り」	24 	25 ナースリー 幼児 「公園へお出かけ」	26 小学生	27 ナースリー 幼児	28 ナースリー 幼児	29 小学生　午後クラブ
30 	31 	☆市民図書館の本の入れ替えが１０月５日にあります。まだ借りている人は返却してください。 　入れ替え後の貸し出しは、１０月６日からです。おたのしみに！！！ ☆幼児クラスのおでかけは、１０月２１日（金）２５(火)です。（お知らせ参照） ☆小学生水曜日クラス・・・夕食会（おにぎらず&おにぎりず）（お知らせ参照） ☆11 月 13 日（日）　「手づくり市」　“手づくり市”は小・中学生のお兄ちゃん、お姉ちゃんたちや親子、幼児の親子の人が手作りの小物などを売ってくれるお祭りです。　100～300 円ぐらい持って買い物に来てね。				